



## スキー場諸元

名称：ほうだいぎ(宝台樹)スキー場

総面積	193 ha
コース数	16本
標高差	546m (838 m-1,384 m)
最大斜度	36度 (ダウンヒル)
リフト総延長	5,305m
リフト数	6基
事業者	(株)みなかみ宝台樹リゾート (主要株主： (株)オープンハウスグループ)
開業時	武尊山観光開発(株) 第8,9クワッド：群馬県企業局



## 様々な顔を持つ地形豊かな遊べるスキー場。

宝台樹山の東側に位置し、みなかみエリアで最もスケールが大きい(滑走面積が広い)スキー場。山頂部は尾根や沢に切り開かれたコースが多く、豪快な落ちがある上級コースや沢地形で遊べるコースがあり、様々な地形を楽しむことができる。山麓部は緩やかなバーンが広がり、第8ゲレンデ・ファミリーゲレンデは、ビギナーの練習に最適なゲレンデとなっている。ただ、快適なクルージングができる長い中級者向けの斜面が少なく、初級・上級者向けのスキー場といえる。(スキー場公式の最大斜度は、イーグルコースの40度であるが、実際には35度程度と思われる。)

標高が高く北斜面のスキー場であるため、雪質は比較的良いが、水上ICより奥まった位置にあるため、アクセスは決して良いとは言えず降雪時はより一層運転に注意が必要。駐車場は、広く舗装もされているため、利用しやすい。

スキー場のリフト接続は、1979年開業と比較的古くリフト改変により接続が良くない箇所がある。また、ファミリーコースの第6ペアは、固定循環式で800mもありリフト乗車時間が長いため、効率よく楽しみたい人は第8,9クワッドの利用をおすすめする。(第8,9クワッドの建設は、バブル期に群馬県企業局により建設されたため他リフトと少々毛色が異なる。)

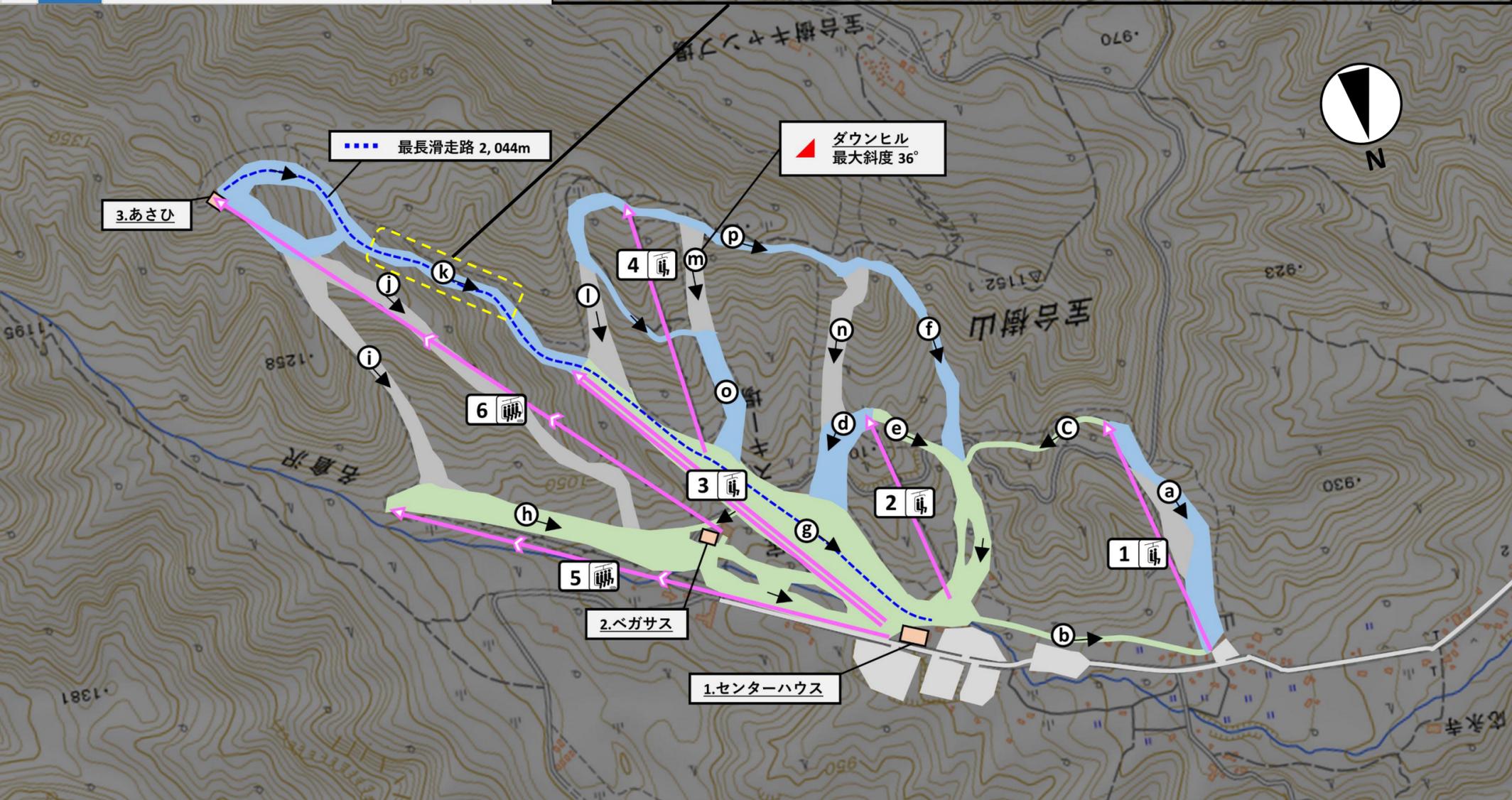
2022シーズンより、運営がオープンハウスグループとなり、スキー場表記は宝台樹スキー場から群馬みなかみほうだいぎスキー場となった。

# コースマップ

No.	レベル	名称	Ave[°]	Max[°]
a	中 上	白樺ゲレンデ	17	34
b	初	第2連絡	5	9
c	初	第1連絡	7	18
d	中	第2東	15	29
e	初	第2西連絡	13	33
f	中	スラローム	19	31
g	初	ファミリーゲレンデ	9	14
h	初	たんぽぽ	7	12
i	上	第9	20	33
j	上	成平	17	32
k	中	第10	17	30
l	上	イーグル	22	35
m	上	ダウンヒル	29	36
n	上	パラダイス	22	35
o	中	第5西	15	32
p	中	パノラマ	10	24



◀k:第10コース  
別名、宝ナチュラルパイプとも呼ばれる、沢地形のコースで宝台樹名物コースでもある。

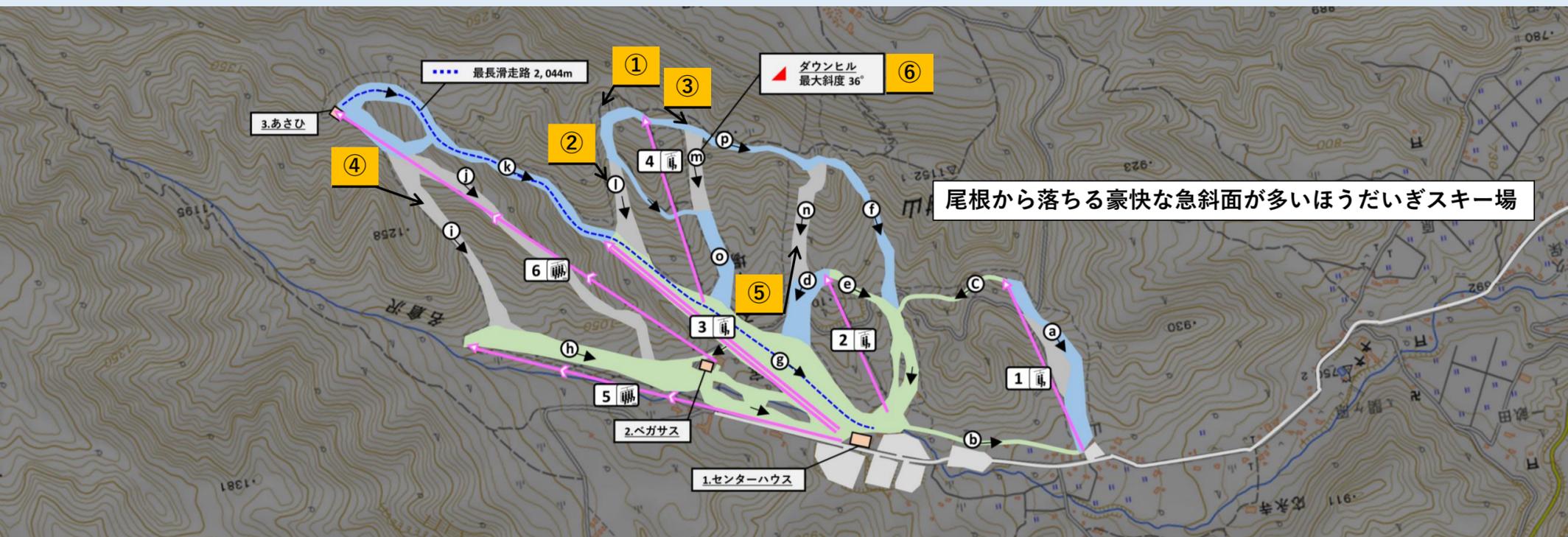


No.	定員	形式	フード	名称	キロ程[m]	キロ程グラフ	山麓標高[m]	山頂標高[m]	高低差[m]	高低差 グラフ
1	2	CLF	-	第1ペア	530		838	1,010	172	
2	2	CLF	-	第2ペア	519		893	1,029	137	
3	2	CLF	-	第6ペア	872		903	1,048	144	
4	2	CLF	-	第7ペア	675		995	1,264	269	
5	4	CLD	-	第8クウッド	1,194		903	1,057	154	
6	4	CLD	B	第9クウッド	1,515		962	1,384	422	

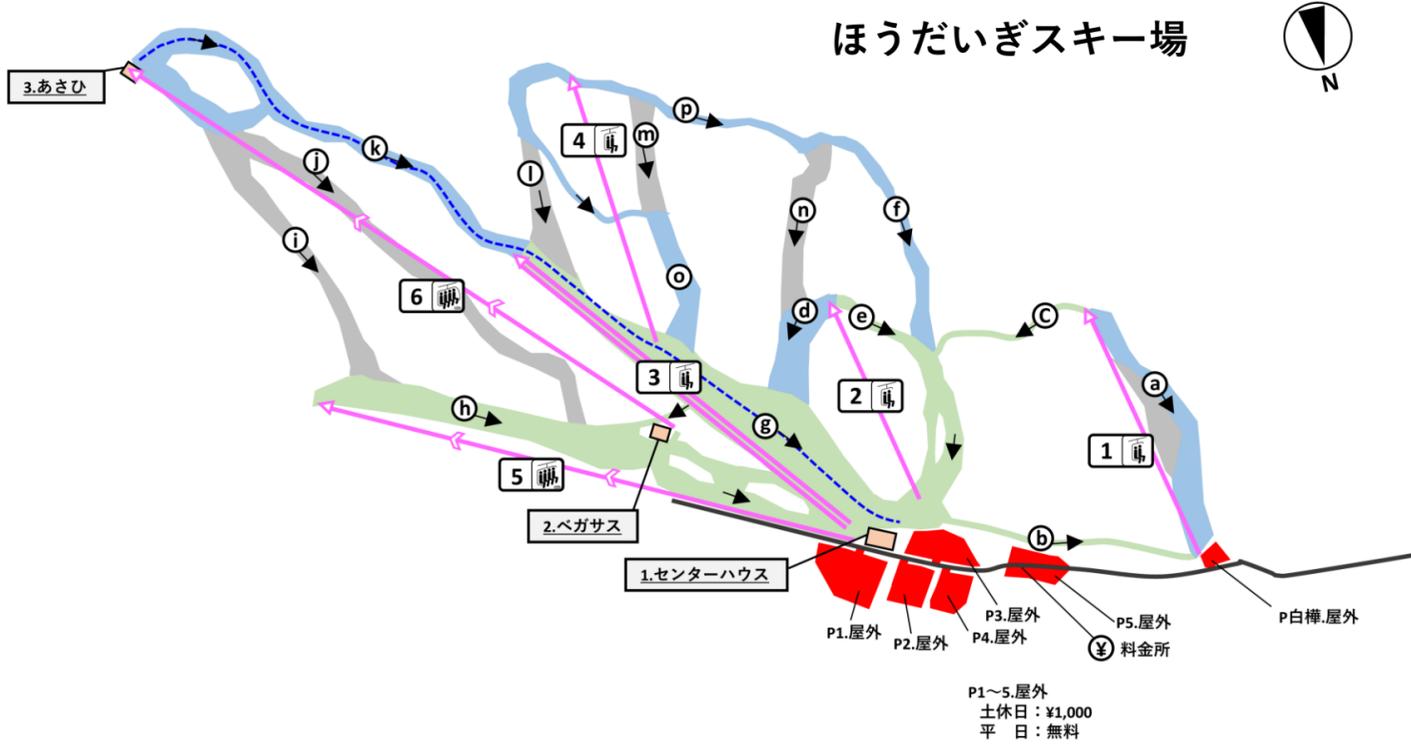
■: 連絡線 ▲赤字: 休止中/廃止



# コースマップ ~上級コース紹介~



# 駐車場・アクセス情報



**P1~5.屋外駐車場**

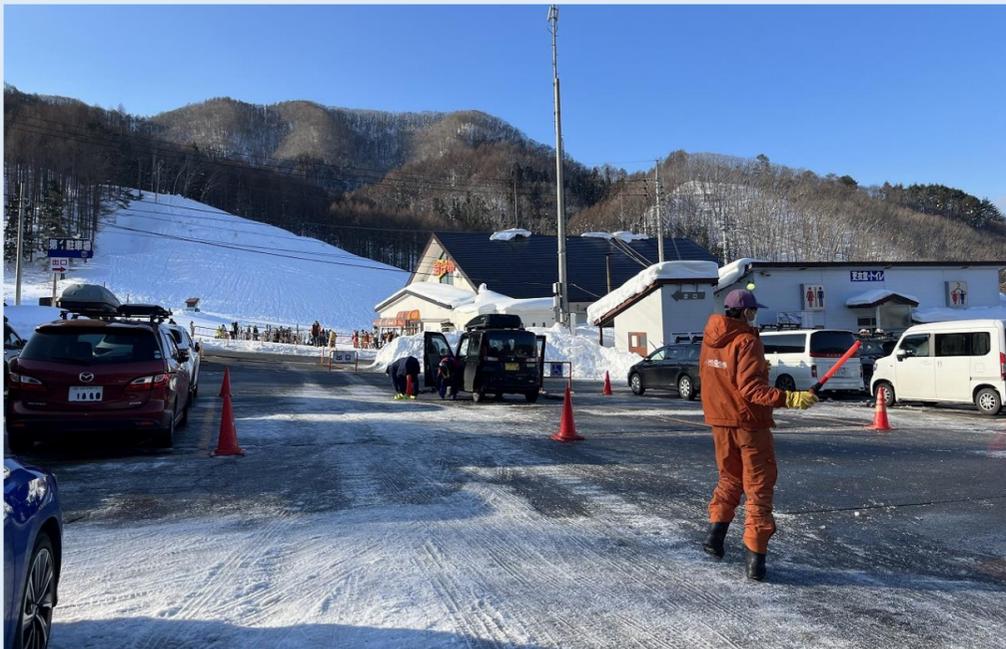
時間(平日)	6:00~19:00頃
(休日)	6:00~19:00頃
料金(平日)	無料
(休日)	¥1,000(普通) ¥2,000(大型)
収容台数	約2,300台

- ・白樺P以外アスファルト
- ・P5のみ24時間利用可能。
- 6:00より係員誘導のもとP1に入場可

## 広域アクセス路



### ▼ 第1 駐車場 (ゲレンデが近く、1,200台ほど駐車可能)



### ▼ 料金所



▼第9クワッド山頂からは谷川連峰が一望できる。



▼ワイドな緩斜面のファミリーコース(g)



▼6:第9クワッド

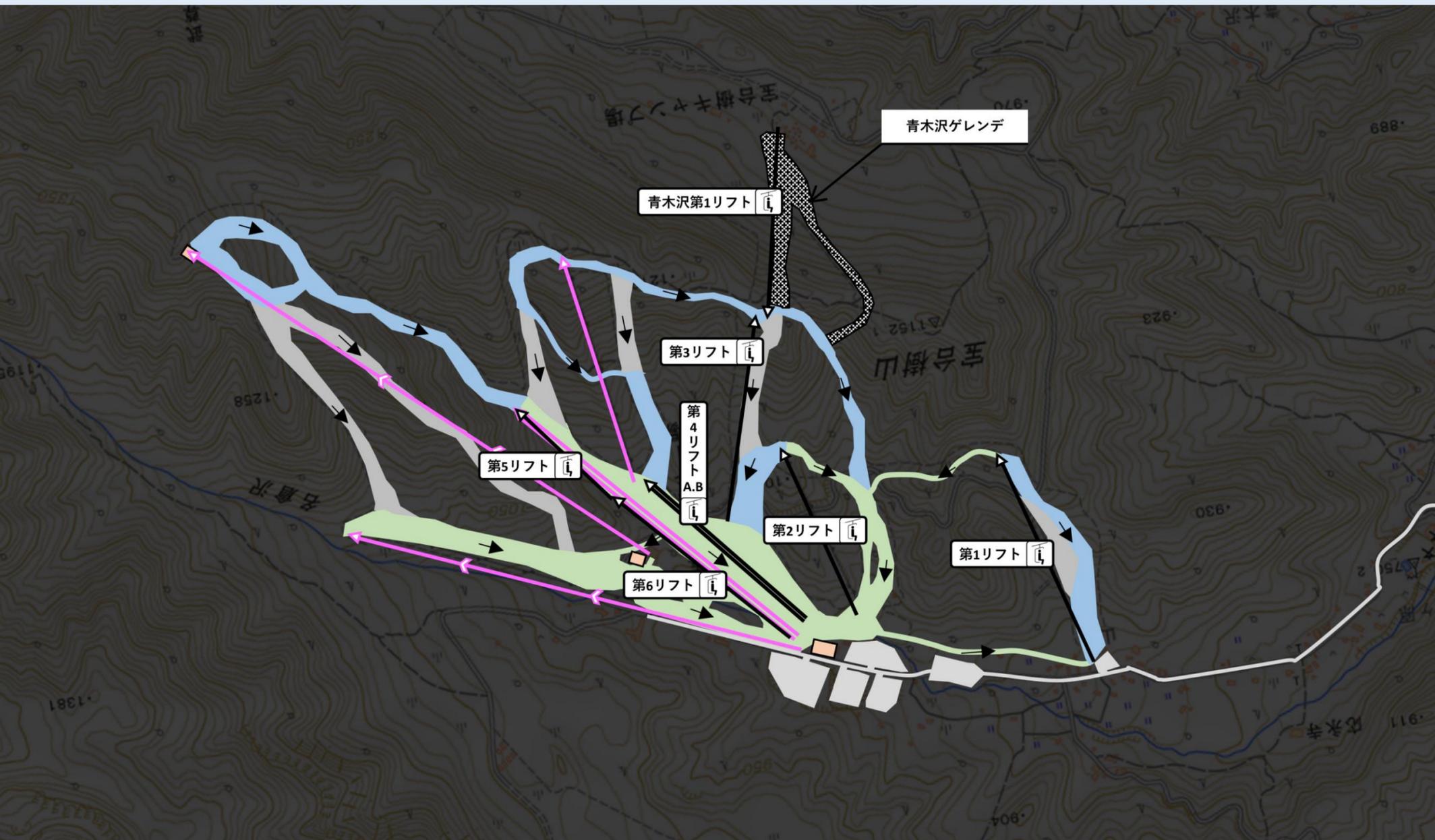


▼そりエリア





# 消えた第3～5リフトを追え



定員	形式	フード	名称	キロ程[m]	運行年	1979	1980～	1985～	1990～	1995～	2000～	2005～	2010～	2015～	2020～	2025～	備考	
1	CLF	-	第1リフト	553	1979～1988													第1ペアに架け替え
2	CLF	-	第1ペア	530	1988～													
1	CLF	-	第2リフト	543	1979～1988													第2ペアに架け替え
2	CLF	-	第2ペア	519	1988～													
1	CLF	-	第3リフト	624	1979～2010頃													廃止
1	CLF	-	第4リフトA.B	508	1979～2004 <sup>※1</sup>													廃止
1	CLF	-	第5リフト	357	1979～1988													第6ペアに架け替え
1	CLF	-	第6リフト	357	1979～1988													第6ペアに架け替え
2	CLF	-	第6ペア	872	1988～													
1	CLF	-	第7ペア	675	1986～													
4	CLD	-	第8クワッド	1,194	1991～													群馬県企業局により建設
4	CLD	B	第9クワッド	1,515	1979～													群馬県企業局により建設
1	CLF	-	青木沢第1リフト	510	1980～1990頃													ゲレンデ廃止

スキー場開業

※1 しえすた氏より情報提供

## 第3～5リフトは欠番なのか？

ほうだいぎの第3～5リフトまではコースマップに表記なく、あたかも欠番のように見える。しかし、第3～5はかつて確かに存在していた。ほうだいぎスキー場のリフトは、開業時の1979年に第1～6リフトまでが一気に開業した。開業時は、もちろん欠番などはなかったが、1988年に第1,2,5,6リフトがシングルリフトからペアリフトに架け替えられた際に第5の欠番が生じ、後に架け替えられなかった第3,4リフトが廃止になり、第3～5リフトが消えてしまった。

また、ほうだいぎスキー場には消えたゲレンデも存在する。スキー場開業翌年の1980年にメインコース側とは反対側に青木沢ゲレンデが誕生するも、1990年頃のバブル期に姿を消した。



▲第3リフトは、基礎のみ残る。

# 1.第1ペア



## 線路諸元

名称：第1ペア

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	530 m
高低差	172 m
輸送能力	1,200 p/h
回転方向	反時計
支柱数	10 基
速度	2.3 m/s
定員	2 名
搬器	モデルE
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	1979年10月
運行開始年月	1988年12月
メーカー	日本ケーブル

▼山麓停留所



▼山頂停留所



# 1.第1ペア



# 1.第1ペア



## 2.第2ペア



### 線路諸元

名称：第2ペア

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	519 m
高低差	137 m
輸送能力	1,200 p/h
回転方向	時計
支柱数	10 基
速度	2.3 m/s
定員	2 名
搬器	モデルE
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	1979年10月
運行開始年月	1988年12月
メーカー	日本ケーブル

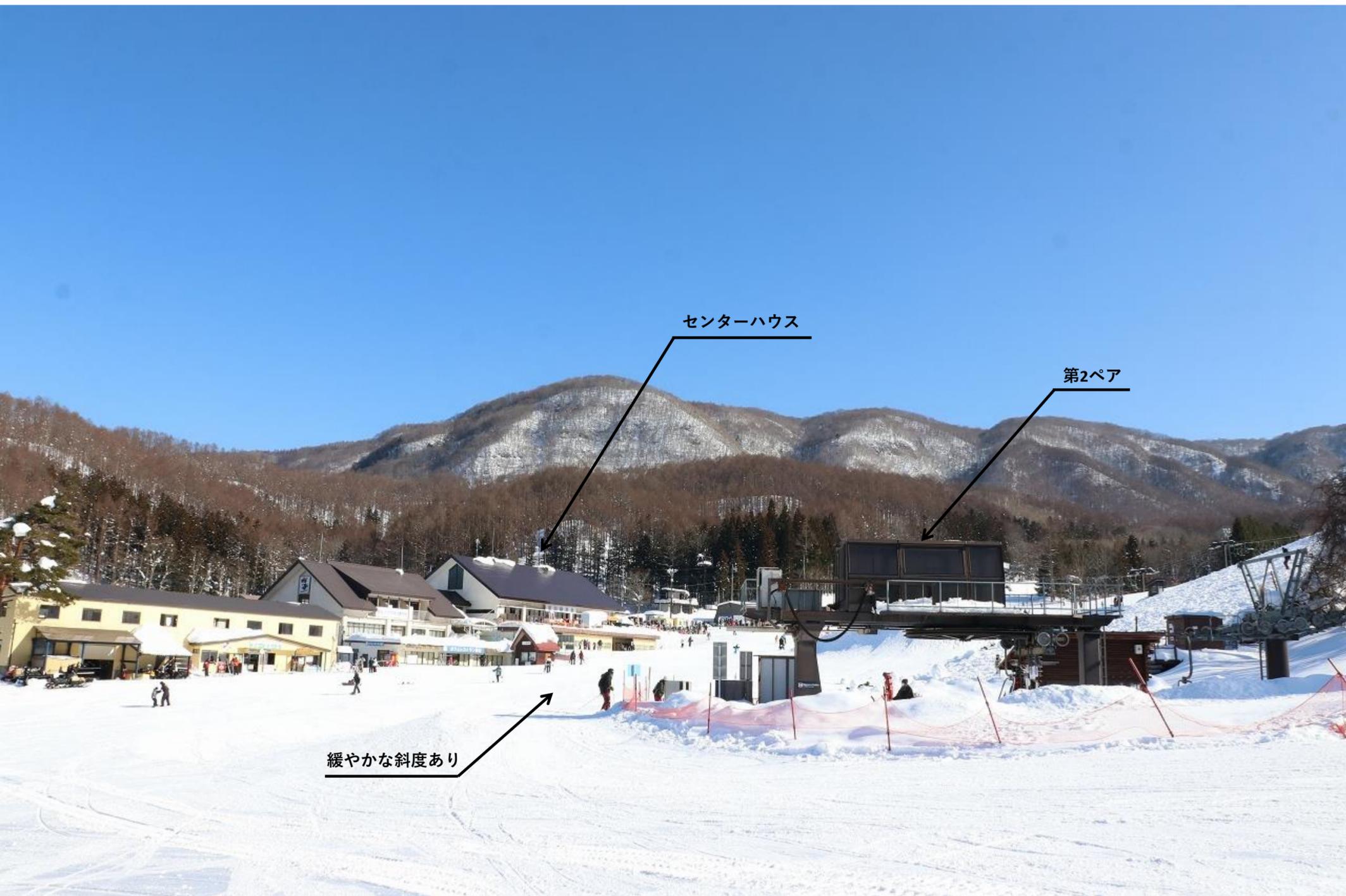
▼山麓停留所



▼山頂停留所



## 2.第2ペア



### 3.第6ペア



▼山麓停留所



▼山頂停留所



#### 線路諸元

名称：第6ペア

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	872 m
高低差	144 m
輸送能力	A:1,200 p/h, B:1,200 p/h
回転方向	A:時計, B:反時計
支柱数	16 基(パラレル式)
速度	2.0 m/s
定員	2 名
搬器	モデルE
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	1988年10月
運行開始年月	1988年12月
メーカー	日本ケーブル

### 3.第6ペア



3:第6ペア

5:第8クワッド



g:ファミリーコース

## 4.第7ペア



### 線路諸元

名称：第7ペア

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	675 m
高低差	269 m
輸送能力	1,200 p/h
回転方向	反時計
支柱数	13 基
速度	2.0 m/s
定員	2 名
搬器	旧型
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	1986年10月
運行開始年月	1986年12月
メーカー	日本ケーブル

▼山麓停留所



▼山頂停留所



#### 4.第7ペア



g:ファミリーコース

## 5.第8クワッド



### 線路諸元

名称：第8クワッド

方式	単線自動循環式特殊索道
傾斜長	1,194 m
高低差	154 m
輸送能力	2,400 p/h
回転方向	反時計
支柱数	19 基
速度	4.0 m/s
定員	4 名
搬器	モデルE
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山頂
事業許可年月	1993年3月
運行開始年月	1993年12月
メーカー	日本ケーブル

▼山麓停留所



▼山頂停留所



# 5.第8クワッド



## 6.第9クワッド



### 線路諸元

名称：第9クワッド

方式	単線自動循環式特殊索道
傾斜長	1,515 m
高低差	422 m
輸送能力	1,800 p/h
回転方向	時計
支柱数	27 基
速度	4.0 m/s
定員	4 名
搬器	モデルE
原動出力	380 kW
緊張方式	油圧
原動位置	山頂
緊張位置	山麓
事業許可年月	1993年3月
運行開始年月	1994年1月
メーカー	日本ケーブル

▼山麓停留所



▼山頂停留所



## 6.第9クワッド



## 6.第9クウッド



## 6.第9クワッド



## 6.第9クワッド

